

| 生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター大平台担当圏域レベル） 開催報告書 | |
|---|--|
| 1 開催日時 | 令和 7年 9月 30日（火） 10時 00分 ～ 11時 30分 |
| 2 開催場所 | 篠原協働センター |
| 3 参加者 | 入野地区5名・篠原地区7名・関係機関10名 |
| 4 協議の内容 | <p>1. 開会</p> <p>2. 前回の振り返り</p> <p>3. 協議事項・グループワーク</p> <p>①高齢者のサポート(ゴミ出し)</p> <p>事務局より全国で行われているゴミ出し支援の事例を紹介。 その後、地域の実情や取り組むことが出来そうなことについて、入野地区・篠原地区に分かれてグループワークを行った。</p> <p>【入野地区】</p> <p>現状入野地区ではゴミ出し支援をする団体は無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しに困っている人がどの程度いるか調査が必要。そのために地区や町単位よりも、小さな班単位で把握していく方がよい。高齢者は民生委員が調査できるが、全住民となると自治体に把握してもらい、更に災害時にも役立てた方がよい。 ・ゴミ出しをとおして助け合いの地域づくりにつながるとよい。 等 <p>【篠原地区】</p> <p>現状篠原地区では地区社協がゴミ出し支援を実施。</p> <p>家事支援事業の協力員について 約50人登録。うち実働は12名程度。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町毎に登録数にバラつきがある。→依頼者とのマッチングが難しい場合も… 2. 実働していない人へのフォローをどうしていくか？ いつまで登録？またいつまで支援を続けていくか？ そんな声がある。 3. 協力員の確保について。事前登録制を続けるか、依頼事に都度確保していくか <ul style="list-style-type: none"> ・依頼者と協力員、集積所の位置関係を考慮してマッチングを行っている。 <p>→馬郡町の集積所の位置が課題。集落が少ない所は東海道を縦断する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力員の実費弁償について <p>→地区社協の実績補助金をそのまま協力員に渡しているが、他財源より増額して渡すことは可能なのか。またその際の支出科目（経理報告）はどうしたらよいか。</p> <p>→地区社協補助金に関することなので、個別に相談対応させていただく。</p> |

- ・ゴミ捨て支援に関しては朝の時間帯となるため、みな忙しい時間である。
- 協力員の自宅からの近さなどを配慮する必要がある。

※収集する時間帯の工夫の余地は…？

②地区社協活動のPR・継続に向けて

包括より、居場所の必要性について説明。

その後、これからも地区社協・サロン活動が継続されるために何が必要か、グループワークを行った。

【入野地区】

- ・入野地区では、元々元気なある程度の高齢者はシニアクラブや同行会に参加する、その後そこに行くことが難しくなった人がサロンに来るようになっていた。最近では両方来ている人が増えてはいる。しかし、サロンの参加者はどこも減っている。
- ・サロンボランティアも高齢化してきている。参加者との年齢での区別がつかなくなってきている。メリットとしては、ボランティアの居場所ともなっている。

【篠原地区】

- ・活動のPRについて…地区社協についての理解度が浅い。
 - チラシやパンフレットを作成（イラストを入れて）
 - ※文章だけでは気に留めてもらいづらい。
 - 一方で、健康麻雀やポッチャなど「楽しい」と思えることには問合せや道具の貸出など問い合わせが多い。
 - ※回覧なども見てくれてはいる。
- ・活動者の確保について…出来ることなら各町から確保したい。
 - 一般住民から仲間になってくれることはほぼ無いため、関係団体からの仲間づくりをしていくのが現実的だと思われる。
 - それぞれの団体の役割・必要性の相互理解を深めていくことも大事だと思う。

4. 連絡事項

○次回(第3回)協議体会議 予定

日時：令和8年1月28日(水)10:00～

会場：篠原協働センター

○次回(第3回)協議体会議事前打合せ 予定

日時：令和7年12月23日(火)10:00～

会場：舞阪支所 防災対策室

5. 閉会

5 今後の見通し・
必要な対応

今年度は2つのテーマを協議しているが、今回の会議では高齢者へのサポート(ゴミ出し)に対して活発な意見が出た。両地区ともゴミ出しは課題として抱えていることが分かり、次回以降はゴミ出しについて、重点的に協議していきたい。